

鳥取県地震

2020年（令和2年）2月

鳥取地方気象台

目次

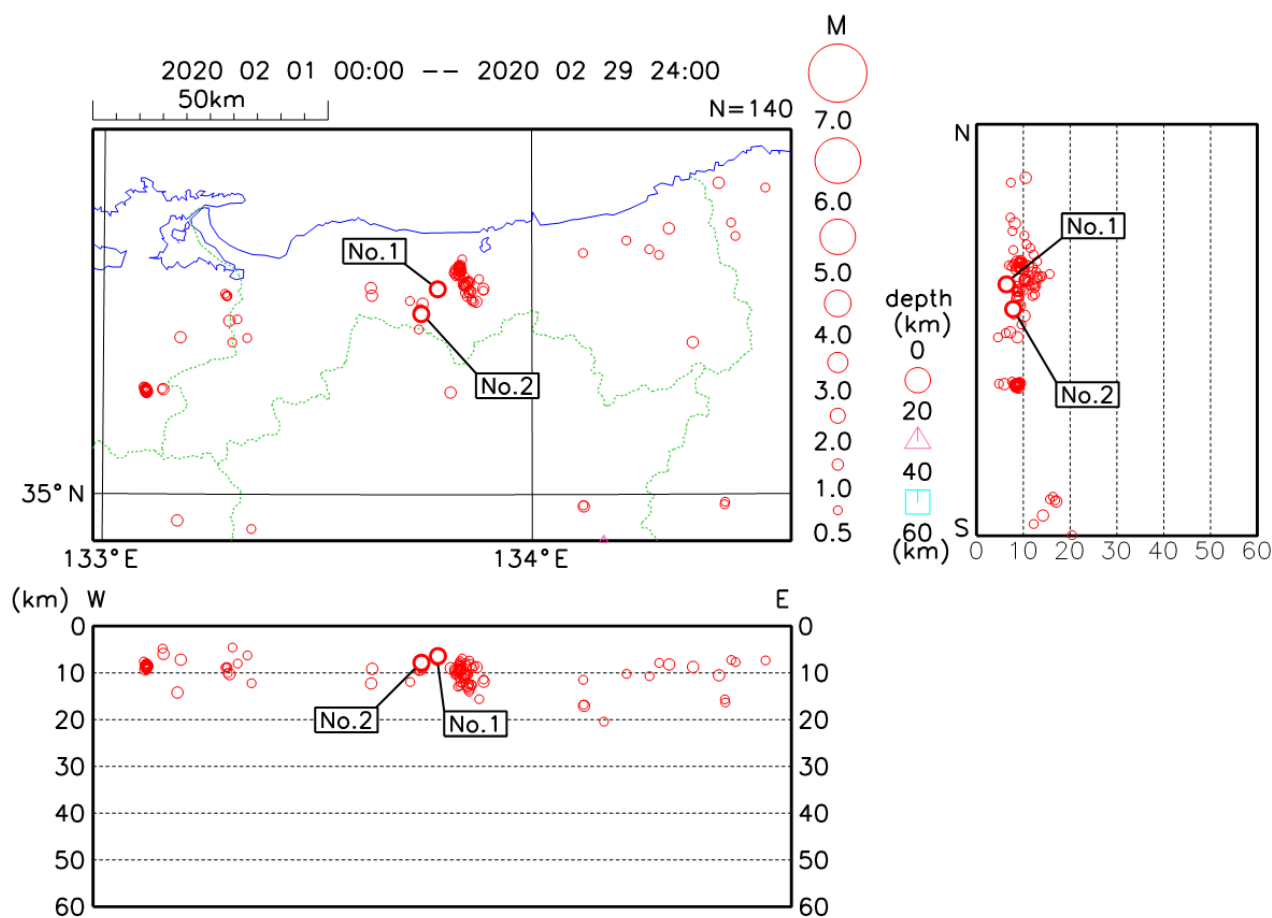
(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	1
(3) 地震・津波の知識	
ひずみ計	2

- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。
- ・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

＊ 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2020 年 2 月に鳥取県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした（先月も無し）。
上記震央分布図内において、M2.0 以上の地震は 2 回（前月は 5 回）でした（番号は震源リストに対応）。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

期間 : 2020 年 2 月 1 日 00 時 00 分～2020 年 2 月 29 日 24 時 00 分
緯度 : 34° 55' ～35° 45' N 経度 : 133° 00' ～134° 40' E
深さ : 0 km～60 km

No.	発震時 (年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ (km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2020 年 02 月 01 日 19 時 41 分	鳥取県中部	35° 23.6' N	133° 46.7' E	6	2.3	—
2	2020 年 02 月 25 日 13 時 48 分	鳥取県中部	35° 20.7' N	133° 44.4' E	8	2.0	—

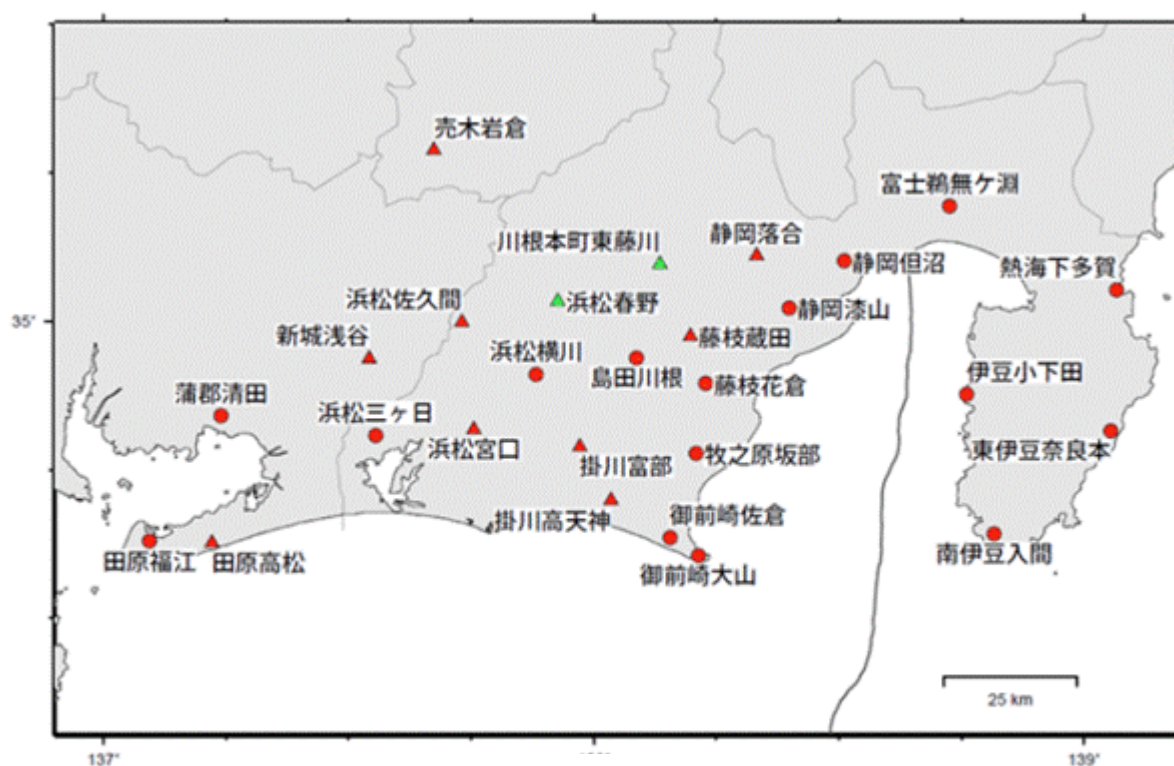
(2) 鳥取県内で震度 1 以上を観測した地震

2020 年 2 月に鳥取県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした

(3) 地震・津波の知識

ひずみ計

気象庁では、南海トラフ沿いの地震活動を監視するため、「ひずみ計」という機器を東海地域に設置しています。これは、プレート境界のゆっくりすべり等に伴うごくわずかな岩盤の伸び縮みを捉えるためのもので、南海トラフ地震に関連する情報の発表等のために使われています。現在、気象庁が南海トラフ地震に関連する情報の発表にあたり、調査を開始する対象となる現象を判断する際に用いているひずみ観測点は、以下の 27 点です（図 1）。



ひずみ計を設置するには、まずボアホールと呼ばれる直径 15 センチメートル程度の縦穴を地表から数百メートルの深さまで掘削します。その底に、円筒形の検出部を入れて埋設しています。

地下の岩盤は、周囲からの力を受けて、ごくわずかですが伸び縮みします。ひずみ計は、その検出部が岩盤と同じように変形することで、岩盤の伸び縮みを検出します。その精度はきわめて高く、岩盤の伸び縮みを 10 億分の 1 の相対変化まで測定します。これは、小中学校にあるプール（長さ 25 メートル、幅 10 メートル、深さ 1.5 メートル程度）に水を満たし、直径 1 センチメートルのビー玉を入れた時に生ずる、ごくわずかな体積の変化でも検出できる精度です。

気象庁が設置しているひずみ計には、体積ひずみ計と多成分ひずみ計の2種類があります（図2）。

体積ひずみ計は、岩盤の伸び縮みによる検出部の体積の変化（体積ひずみ）を測定します。一方、多成分ひずみ計は、検出部の45度ずつ異なる4つの方位の直径の変化（線ひずみ）を測定します。体積ひずみ計ではひずみの大きさの変化を知ることができますが、多成分ひずみ計ではひずみの大きさに加えてその方向ごとの変化を知ることができます。

各観測点の観測データは、常時、専用回線で気象庁に集約され、前述したとおり南海トラフ地震に関連する情報の発表等のために使われています。

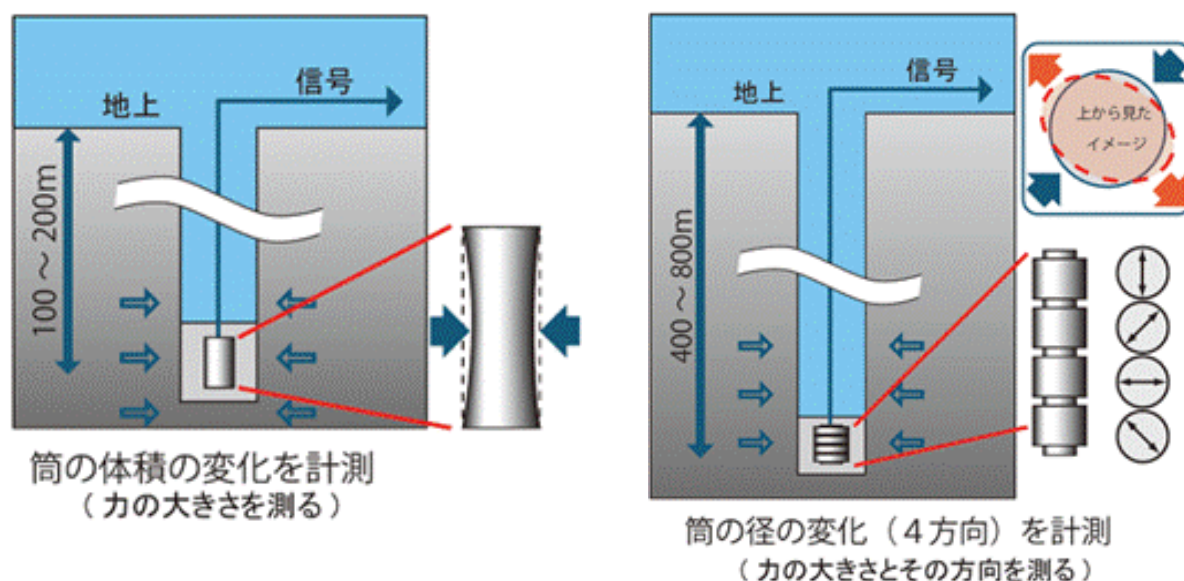


図2 体積ひずみ計（左）、多成分ひずみ計（右）

「南海トラフ地震に関連する情報」の種類及び発表条件

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/info_criterion.html

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和2年2月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

防災機関・教育機関等で地震・津波に関して詳しくお知りになりたい場合は、鳥取地方気象台まで連絡をお願いします。気象台から講師を派遣（出前講座）します。詳しくは鳥取地方気象台ホームページ「見学、出前講座のご案内」をご覧ください。

URL https://www.jma-net.go.jp/tottori/kengaku_demae.htm

出前講座問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1312